

## 「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	群馬大学	整理番号	F02
プログラム名称	重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム		
プログラム責任者	和泉 孝志	プログラムコーディネーター	中野 隆史

### (評価決定後公表)

#### (総括評価)

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

#### [コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、世界最先端の重粒子線治療技術を軸にした学位プログラムの構築にあたって、その基盤を成す重粒子線の治療効果を客観的に示す研究デザインについてランダム化比較試験（RCT）の実施が約束されているので、その点も含めて評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、医工連携・地域連携・国際連携を通じて教育・研究指導が推進されており、期待される。また、海外の研究機関への学生のインターンシップ派遣や国際会議発表の推進、キャリアパス構築にも努力がなされており、評価できる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、医工連携を推進する学内システムの構築を目指しているものの緒に就いたばかりであり、今後の早急な進展が期待される。その構築にあたっては、重粒子線治療の医療システムを戦略的にグローバル展開するために、海外の医工連携システムを参考に群馬大学の独自目標を設定して、戦略的に進めていく必要がある。

優秀な学生の獲得については、平成26年度から秋入学を実施し、学生数が増加しており、国際的で十分な人数の学生の確保がなされていることは評価できる。

世界に通用する確かな質保証システムについては、1段落目にも述べた RCT の達成度と関連があるが、今後ユニークな医工連携等の展開により、達成できる可能性はある。

事業の定着・発展については、患者の医療負担で経済的に循環することで満足せず、人材育成と世界戦略に重心を置くとともに、工学系のテーマ展開も戦略的に構築する必要がある。